

2022年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部／研究科 政治学科／専攻 4年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 Murdoch University / School of Arts
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2022年 2月 28日 ～ 2022年 11月 27日 出国日 2022年 2月 3日 最終帰国日 2023年 1月 22日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

コロナで激動の中、留学を決意した私は、相当の覚悟を持って渡航をしました。長い人生の中で、大学生という人生を左右する時期に留学を経験することが自分を成長させると信じ覚悟を決めました。留学前から海外志向が強く、海外で暮らしたいという想いを持っていました。留学を通じてその想いがどう変化するか、海外での生活をイメージするために留学をしました。結果として、様々な経験から心身ともに成長し、海外で自分の力で生きていく自信ができました。また、その想いがより一層強くなった一方、海外で働き仕事をする難しさも感じました。世界のどこに行っても自分の価値が認められるようなもの、つまり専門的なスキルが必要だと感じました。海外で働くということは、英語は大前提の上、ネイティブの人々にも勝るだけの能力が必要です。難しいことは分かっていますが、同時にチャレンジのしがいのあるものだとも感じています。人生の方向性を決める大きな転換点となりました。心境にも様々な変化と成長が芽生え、より大きな視点で物事、そして人生を捉えることができるようになりました。この留学の経験は自分にとっての財産です。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

日本のサブカルチャーについて。漫画やアニメなど、海外で人気のあるものをキャッチアップをしていれば、もっと話が盛り上がったはず。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

日本とは違い、グループワークなどを通して、自分の意見を求められることが多いです。ただ座っているだけだと「何のために授業受けてるの?」といった考え方です。普通に現地の生徒や留学生と混じって授業を受けるため、「英語ができないから」は言い訳にすぎません。他の生徒よりも勉強することは当然、その中で「自分はこう思う」といったオリジナルの意見を持つことが学びに必要です。しかし、同時にネイティブでないということは事実として受け入れ、助けを求めることも必要です。この線引きが難しいところですが、何でも自分でやろうとすると自分を追い詰めることになり得るため、自分ができる最大限の努力をしながら、困った時には助けを求めるオープンなマインドが大事です。評価に関しては、ネイティブ、ノンネイティブに関わらずフラットにされますが、自分が分からないことや聞きたいことに対しては先生が丁寧に教えてくれる環境です。分からないことはそのままにせず、聞きに行くことが大切です。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

大学のキャンパスは想像以上に広く、自分がまだ行ったことのない場所もあるかもしれません。勉強スペースは主に図書館または自分の部屋になりますが、その他の場所でも勉強ができる設備が整っています。自分だけの静かで勉強しやすい場所を大学内で見つけ、もくもくと勉強するといったことも可能です。大学中央にブッシュコートといい、緑豊かな芝生が広がっています。勉強で疲れた際には、建物から出て自然と戯れることができる点は非常に魅力的です。自然と大学施設が融合したような環境なので、非常に過ごしやすい環境だと思います。カフェテリアも充実しており、ランチや軽食をとることもできます。大学の体育館には、バドミントン、バスケットボール、フットサルなど様々なスポーツができる環境が整っています。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生を対象とした語学補習講座のようなものはありませんでした。そのため、英語に関するキャッチアップは自分自身で行う必要があります。しかし、日本人留学生と現地の学生がバディを組んで、日本語と英語を教え合うといった制度がありました。そこでは、バディの子に、エッセイの添削や、英語に関する質問をすることができました。バディの子と仲良くなったら遊びに出かけることも可能です。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面のサポートに関しては、現地の日本人教授の森山先生という方がよく面倒をみてく

れました。留学開始時には、過去の交換留学生在が置いていった日用品等を受け取ることができ大変助かりました。

留学生向けのイベントに関しては、コロナの影響でロードトリップが中止になりました。コロナが落ち着いたら、またそういった遠出に行くイベントが増えると思います。しかし、留学生向けのランチやディナーは時々ありました。オーストラリアのみならず海外から来る留学生と友達を作る良い機会になります。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地で得られるものに関しては特に分からない。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺に関しては非常に安全です。しかし、寮の駐車場では、車上荒らしが時々ありました。パース、フリーマントルに関しては、夜になると治安が悪くなる時があるので注意です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

全体の印象として、色々な考え、生き方を持っている人が多いという印象を受けました。他の大学とは異なり、一回社会にでて大学に戻って勉強をするという人を多く見かけました。例えば、軍隊にいた人や、子どもをもつ父親などなど。自分とは違った経験や価値観を持っている人が多いので、自ら話かけて色々な情報を吸収してみてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
TLC101 Communication Skills for Undergraduate Study	
COM100 Thinking Communication	
PHO124 Photography	
CRE100 Foundation in Creative Media	
PSY141 Introduction to Psychological Science	
PHO101 Digital Imaging	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 AUD 800 、(日本円) 約 7.5 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

大学の寮生活は最高でした。まずは、毎日のようにビレッジ内での交流イベントが開催されているので、多くの人と関わることができ、友達をたくさん作りました。ほぼすべてのイベントに参加し、知らない人はいないくらい学生と関わってみることをおすすめします。イベントの内容は、アイスクリーム、パンケーキ、ディナー、卓球大会、市内観光などなど。アパートでの生活は、ルームメイトによる部分が大きいと思います。幸いなことに私は最高のルームメイトに囲まれ充実した日々を送ることができました。しかし、これも運が良かっただけでなく、自分からルームメイトを遊びに誘ったり、ピザをシェアしたりと、仲良くしたいという純粋な想いを行動に移せたことが大きな要因になったと思います。要するに、自分の行動次第で物事は良くも悪くも変わる可能性があります。積極的に行動することが大切です。

4. 費用について

(1) 学 費

~~(現地通貨) 約 _____、(日本円) 約 _____ 円~~ 交換留学のため現地での学費は免除

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 30 万円*

※コロナの関係で、翌日のフライトを取らなければいけなかったため 30 万近いチケットになってしまった。例年であればもっと安いはず。

(3) 生活費 (※宿舎費を含めた金額を記入してください。)

(現地通貨) 月額・年額 約 _____、(日本円) 約 10 万円

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現地で銀行口座を開設しました (Commonwealth Bank)。友達とのお金のやり取りなど、その銀行のアプリの送金を通じてできたので非常に良かったです。学生であれば、口座維持費は無料。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

私の場合、留学を通して20万円受給しました。これを月に換算すると、月2万円程度。月の食費が200ドル程度であったため、奨学金は食費に全て使いました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

OSHC

(2) 保険料

約7万円

(3) 加入した保険の種類、内容

OSHC Essentials Plan

(4) 感想、良かった点・悪かった点

大学に併設されるクリニックで、気になるところがあれば気軽に無料で受診できたのでよかった。大体の症状は診てくれると思うので、入っておいてよかった。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

ジップパーカー、サッカーシューズ、バリカン、変圧器

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

午前中から reading やウィークリータスクに取り組む。授業がある日には、キャンパスまで歩いていき授業を受ける。図書館はあまり利用せず、自分の部屋で集中しながら課題に取り組んだ。夕方以降は、ビレッジのイベントや、友達と出かけることに時間を使ったため、夕方までにタスクは全て終わらせるようにした。夜は友達とご飯を食べに行ったり、夜景を見に行ったり、ルームメイトとリビングでおしゃべりをしたりトランプをしたりと活動的に過ごした。

(2) 週末

知らない地に出かけていくことが趣味なので、旅行をメインにしていました。車を持っていないため、電車で行ける範囲で旅行をしました。自然が好きなので、ハイキングをしたり、釣りをしたり、海にいったりと充実した日々を送りました。車を持つ友達がいるときは、星空を見に行ったり、海岸線をドライブしたりと雄大なオーストラリアの地を満喫しました。

8. 後輩へのアドバイス等

限られた時間で多くの学び・経験を得るためには、常にチャレンジし続ける姿勢が大事だと思います。英語で不安な面も多くありますが、それ以上に機会を損失する方がマイナスだと思ったので、留学中はYESマンになることを意識していました。他には、友達を多く作ることが大切だと思います。異国の地で全一人ですというのは厳しいと思います。様々な場面で友達が助けしてくれる可能性があるので、失敗を恐れず、自分を表現し、友達を作ってみてください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

<旅行先について>

フリーマントルからフェリーで30分のロットネス島は自然が豊かで海が綺麗。電車で行ける範囲でいうと、Mandurahがおすすめ。現地では野生のイルカを始めて見た。オーストラリアは車社会なので、車がないと旅行するのが困難。車を持つ友達と仲良くなり、遠出するというのが一番いいと思う。私は、運が良いことに多くの友達に恵まれ、様々な所を旅行することができた。Pinnaclesでは、生まれて初めて流れ星を見た。

<雑感>

人生で一番楽しかった1年間でした。しかし、ただ楽しただけではなく、様々な学び、成長がありました。海外で一人で暮らすってどういう感じなんだろうという好奇心があり、この地に来ました。言語の壁など困難はたくさんありますが、それ以上に、新しいものに出会う楽しさや、成功できた経験が自分を成長させてくれました。今後、どこか別の海外で暮らすことになっても自信を持って生活できると思います。また、世界は広いということも学びました。色々な人がいますし、色々な文化の違い、考え方の違いをする人がいます。そういった多様性を受け入れ、楽しいと思えるようになったことは一番の収穫だと思います。

将来何をしたいというよりも、将来この地パースに住みたいという想いがあります。将来どこに住みたいかを考えて人生設計を立てることも、1つの選択肢として有りだとも考えられるようになりました。将来やりたいことがなくて悩む人が多いと思います。私もそうです。しかし、やりたいことベースではなく、どういった人と暮らしたいか？どこで生涯を終えたいか？といった軸で人生を切り拓いていくのも面白いと思います。留学を通して、これまで囚われていた価値観や、日本だけで通じる暗黙の了解など、自分は小さかったことに気付きました。人生は自由であり、どう生きるは自分次第だと考えています。今後も様々なことを経験し、自分の人生を切り拓いていきたいと思っています。